

平成25年度 第4回 常呂まちづくり協議会 会議要旨

◎日 時	平成25年10月24日(木)午後6時00分～
◎場 所	常呂総合支所 2F 第1会議室
◎出席者	協議会：12名 山内会長、田淵副会長、安藤委員、稲田委員、江田委員、佐藤委員、澤向委員、敦賀委員、寺町委員、広瀬委員、三角委員、横山委員、
◎北見市	辻自治区長、山田総合支所長、竜滝主幹、土島市民環境課長、表保健福祉課長、山崎産業課長、本所建設課長、戸田教育事務所長、西増生涯学習課長、秋保水産課長、吉竹耕地林務担当係長 事務局：須藤総務課長、川村地域振興担当係長、赤塚地域振興担当

開 会

山田支所長 : ただいまから、平成25年度 第4回常呂まちづくり協議会を開催いたします。
それでは、山内会長よろしくお願ひいたします。

会長 挨拶

山内 会長 : 挨拶
山内 会長 : 前回、「その他」のところ常呂中学校に關しまして質問が出ていましたことにつきまして、事務局から説明をお願いいたします。
戸田 所長 : 前回の常呂中学校の窓のひび割れの關係ですが、常呂中学校に確認をいたしました。この発生は以前からありまして現在は1年に5、6枚ずつ劣化とともに増えてきています。現在約89箇所ですが、そのほとんどがペアガラスの外の部分が寒暖の差と窓枠の歪みなどから発生しているのではないかとということで、今年度に入りましても学校教育の施設担当主幹が調査に入っています。十分把握したうえで学校と安全対策を取りながら、第2次耐震調査の実施を待つて抜本的な取り組みをすることになっていますので、今しばらくお待ちいただきたいと思っています。また、学校での授業と生徒に対する安全面については学校のほうに確認をとっております。
山内 会長 : それでは、会議に入ります前に、事務局から諸般の事項について説明願ひます。

会議 成立

: 委員15名中 12名出席(自治区設置条例第7条第3項)

山内 会長 : 本日の協議会につきましては、概ね午後8時を目途に終了したいと考えておりますので、委員の皆様のご協力をお願いいたします。

2.議 題

(1) 自治区内事業のあり方

- 山内 会長 : それでは早速、次第の2『議題』に入らせていただきます。
- (1)「常呂自治区内事業の今後のあり方について」ということで、前回に引き続き、第6次実施計画に係る懸案事業の審議を行います。
- はじめに、すでに説明・質疑は終わっていますが、市民環境課のほうで資料訂正の説明があるということですのでお願いします。
- 土島 課長 : 前回、資料の説明をさせていただきましたが、一部資料の数字につきまして訂正をお願いいたします。
- 別冊資料1の1ページでございます。
- No.9常呂町墓園区画整備事業のところ平成27年度墓園区画造成工事(42区画程度)とありますが、28区画に訂正をお願いいたします。
- 次に別冊資料2の9ページ、事業の概要の27年度、墓園区画造成工事(42区画程度)を28区画に訂正をお願いいたします。
- また、別冊資料3、15ページ常呂町墓園区画整備事業の①28から30区画を28区画に訂正をお願いいたします。また、②を削除をお願いいたします。
- 以上、ご訂正をよろしくお願いいたします。
- 山内 会長 : それでは、前回に引き続き、産業課から説明をお願いします。
- なお、時間短縮のため、着席のまま説明することを認めます。
- 山崎 課長 : 産業課所管事業について、別冊資料1、2、3により説明
- No.22 基幹水利施設ストックマネジメント事業 常呂地区
 - No.23 食料供給基盤強化特別対策事業(RPU事業)
 - No.24 かんがい排水事業(明きょ排水) 常呂地区
 - No.25 畑地帯総合整備(担い手支援) 常呂豊川地区
 - No.26 畑地帯総合整備(担い手支援) 常呂福山地区
 - No.27 一般農道整備事業(農道保全) 常呂富丘15号
 - No.28 常呂地区排水機場施設設備整備事業
 - No.29 常呂地区幹線排水路維持管理事業
 - No.30 農地・水保全管理支払交付金事業
 - No.31 旧常呂監督員詰所解体事業
 - No.32 ワッカ原生花園周辺施設整備事業
 - No.33 サロマ湖ワッカネイチャーセンター備品更新事業
 - No.34 手工芸の館整備事業
 - No.35 常呂森林公園整備事業
- 山内 会長 : ただいま産業課から所管事業説明がありましたが、これについて、何か質問

等ございますか。

江田 委員 : No.33の自転車の更新ということで、例えば26年度だと普通の自転車を25台なのか予算の693千円分を購入するのか。

山崎 課長 : 計画的に更新をしていきたいと考えています。26年度は25台の更新の予定をしています。また、観光に来られる方には高齢者の方も多いので電動アシスト自転車も購入して整備をしていきたいと思います。

江田 委員 : できるだけ安い値段で仕入れるという理解でいいですか。

山崎 課長 : はい。

安藤 委員 : No.29に関してですが、26年度から28年度までライトコロ川幹線排水路、第一幹線排水路、イワケシ排水路、11号排水路と記載されていますが、ライトコロ川幹線と第一幹線については、以前23年度までは農地・水でやっていたと思います。25年度の予算がかなり低い予算になっていますが24・25年度はライトコロ川幹線と第一幹線は市のほうでやっていたのでしょうか。

山崎 課長 : 25年度についてはイワケシ排水路、11号排水路についての土砂上げ分だけです。

吉竹 係長 : 23年度まで農地・水事業で第1期事業がおこなわれました。これを活用して土砂上げ等を実施してもらっているものがあります。25年度につきましては新しく始めました農地・水対策事業においても継続して実施してもらっています。26年度以降につきましては、農地・水対策プラス市の事業、予算をもってライトコロ川ですとか第一幹線排水路、イワケシ排水路、11号排水路等の土砂上げ等の維持管理をやっていきたいということで1千5百万の計画をあげてございます。

山内 会長 : よろしいですか。

その他ございますか

山内 会長 : なければ次にいきたいと思います。

水産課 お願いします。

秋保 課長 : 水産課所管事業について、別冊資料1、2、3により説明

No.36 水産基盤整備事業

No.37 定置作業保管施設整備事業

No.38 汚水処理施設整備事業（トウフツ地区）

No.39 ホタテ貝殻利用漁場造成事業

No.40 サロマ湖水質観測装置整備事業

No.41 サロマ湖アマモ分布調査事業

No.42 製氷施設整備事業

No.43 荷捌き施設整備事業

No.44 漁港内車両洗浄施設整備事業

No.45 漁港内トラックスケール整備事業

No.46 水産倉庫整備事業

山内 会長 : ただいま水産課から所管事業説明がありましたが、これについて何か質問等
ございますか。

委員 一同 : 質疑・意見なし

山内 会長 : なければ次にいきたいと思います。
建設課 お願いします。

本所 課長 : 資料の訂正をお願いいたします。

別冊資料2 55ページ中段 事業の概要の26年度 L=145となっ
ていますがL=144に訂正をお願いいたします。

56ページ 事業の概要の26年度・27年度 L=420となっ
ていますがL=400に訂正をお願いいたします。

57ページ 28年度 L=1,201となっ
ていますがL=1,200に
訂正をお願いいたします。

58ページ 27年度 L=1,200となっ
ていますがL=112に訂正
をお願いいたします。

別冊資料3 44ページ ③豊浜・弁天・川西地区を豊浜・弁天・東浜に訂
正をお願いいたします。

建設課所管事業について、別冊資料1、2、3により説明

No.47 常呂地区特定環境保全公共下水道整備事業（污水管渠）

No.48 常呂地区特定環境保全公共下水道整備事業（雨水管渠）

No.49 常呂終末処理場整備事業

No.50 栄浦終末処理場漁業集落環境整備排水事業

No.51 配送水施設整備事業（簡易水道）

No.52 市営住宅改善事業（常呂）

No.53 市営住宅建替事業（常呂）

No.54 常呂町川東線道路整備事業（常呂）

No.55 常呂町北進町2号線道路整備事業（常呂）

No.56 栄浦地区道路整備事業（常呂）

No.57 常呂町3号線道路整備事業（常呂）

No.58 常呂町北進町3号線道路整備事業（常呂）

No.59 オーバーレイ事業（常呂）

No.60 社会資本整備総合交付金（建設機械更新事業：常呂）

No.61 朝日橋撤去事業（常呂）

No.62 市道維持業務委託事業（夏期：常呂）

No.63 市道維持業務委託事業（冬期：常呂）

山内 会長 : ただいま建設課から所管事業説明がありましたが、これについて何か質問等
ございますか。

佐藤 委員 : No.63の除雪に関してですが、吹雪で中学校が途中で休校になりスクールバ
スが岐阜方面に帰ることになったことがありました。そのときにバスの運転手
は道路がひどいので別な道を通ったことがあったので、吹雪などで道路状況が

- 悪い時などは先導をしてもらえると通学路を帰ることができたと思いました。
- 本所 課長 : 岐阜地区ですと委託地区に入っていますので毎回先導できるかどうか難しいかもしれませんが委託業者と相談させていただきたいと思います。
- 山内 会長 : その他ありませんか。
- 本所 課長 : 西町第2団地の解体についてですが、西町住民センターは解体せずに残す予定です。
- 山内 会長 : その他ありませんか。
- 江田 委員 : No.59のオーバーレイについてですが、基準値という判断材料を教えてください。
- 本所 課長 : 傷んだ道路がたくさんありますので、維持担当の者が道路パトロールをし、傷みのはげしい場所に順位付けをしまして、順番に整備しています。
- 江田 委員 : 工事のトラックですが端を通らないとすれ違ってしまうので、どうしても傷んでしまいます。そういったことを含めても予算が付かないのであれば、工事をするときは道路を1本に集中しないようなかたちで、うまく道路が傷まないような走り方をして欲しいと思います。
- 本所 課長 : 1本に集中しないように軽重化になるような走り方、ルートということですね。
- 江田 委員 : 予算要求のときに、こういう事業をやるので傷み度合いがひどいということで予算を多くもらえるようなかたちにさせていただきたいと思います。
- 本所 課長 : 財政課のほうに訴えていきたいと思います。
- 山内 会長 : その他ございますか。
よろしいですか。
- 委員 一同 : 質疑・意見なし
- 山内 会長 : 各課の懸案事業の説明がひととおり終わりましたが、これまでの説明も含めて、全体を通して何か質問等ございますか。
- 三角 委員 : No.12の常呂小学校のフェンス設置についてですが、前回のときに小学校は屋上に避難すると説明がありましたが、中学校はどうなっているのですか。
- 山田支所長 : 中学校の校長先生と正式なテーブルできちんと協議をしていますが、今年度の中学校の避難については屋上にフェンス等がございますことから屋上を避難先と考えて検討したいというお話は何っているところでございます。最終的な確認はまだしていません。
- 三角 委員 : 前回の説明だと耐久性は調べていないようですし、もし良くないということになれば変更という可能性もあるということですか。
- 山田支所長 : とりあえず今年度の避難訓練の中で中学校がやるとなれば屋上を検討したいと校長先生からお聞きしているところではあります。
- 三角 委員 : 前回のあとに父母会の理事の人達に話を伝えたのですが、そのときに出た意見を言わせてもらいます。
3年前に東北で震災があって80人からの小学生が亡くなった学校がありましたが、先生の判断ミスではないのかという話が出ています。先生は4キロ先

だからここには来ないと判断、裏山に逃げず校庭に集まっていて亡くなってしまったと問題になっています。

今回、屋上に避難するということはいいのですが、「津波が15分後に来るといのに屋上に逃げるといのはどうだろう」と言うのが父母会の意見です。

山田支所長 : 4.28メートルの遡上高ということと到着時間が17分という北海道から示された前提条件の中で、地震があつて数分経過し移動するのに実質的には12、13分かかるとい想定の中で避難訓練をする際には、屋上もひとつの避難訓練の選択肢と考えられます。

前回、説明させていただきましたが、大雨、津波の避難先も含めて避難計画の見直しをさせていただいて、それぞれ想定の中で適切な避難先について整理をさせていただきたい。そういうことも含めてご理解いただきたいと思います。

辻自治区長 : ハザードマップに記載されている部分で検討が足りない部分があるのかと思います。避難訓練については橋を渡るのに走って12分、合理的ではないのではないかと考えます。建物は耐震調査をしていますが避難場所として認められる建物なのかどうか。2階または屋上という考え方も整理しなくてはならないのかなと思っています。ハザードマップでは、共立より向こうに逃げなさいとなっていますが、車がないと不可能だと思いますので適切に難を逃れて行く場所があるかどうか再検討をさせていただいて、それを避難計画の中でもう一度見直しをして自治区の人にお話をしたいと思っていますので若干お時間をいただきたいと思います。

山内 会長 : その他ございますか。

安藤 委員 : No.63のところ、順次民間委託になってきているようですが①～③は何年に委託ですか。

本所 課長 : ①は23年度、②は24年度、③は26年を予定しています。

安藤 委員 : 今まで直営でやっていましたが、民間委託することによって市のほうの財源や人件費の部分だとか費用対効果は現れているのですか。

辻自治区長 : 委託にするということはその分職員を削るということです。直営を委託にした場合は、今まで直営の仕事に携わってきた職員は別ところで仕事をしていただくというようになるかと思われまふ。北見市の直営と委託の関係ですが除雪に関しては常呂以外は全面委託です。私の考えとしては当面、直営については残していきたいという考え方でおります。3月2日の関係を含めて、これまでの経験やいろいろな技術の問題から見ても直営の果たす役割が大きいと思っています。議会の中で質問が出るかと思いますが、直営を残す形でいきたい、と思っています。ただ一部につきましては委託業者がいるということで委託します。当面はこの形で続いていくのかなと思っています。将来については直営を残すとは言いきれませんが一定の期間がきましたら、また見直しがありえるのかなと思っています。新しいスタイルでやって状況を見極めて今後の在り方について検討していかなければならないと思います。

安藤 委員 : 当面はこの3色の所だけを委託になるということですか。

辻自治区長 : まだ最終的に議会の了解をもらっていませんので、言いきれませんがこの方向でいきたいと考えています。白地のところを直営でと考えています。

山内 会長 : その他ございますか。

寺町 委員 : 除雪に関してですが、スクールバス路線は委託ではなく直営でやっていただけないでしょうか。3月2日のときにスクールバスがいつも通る道じゃない道に入ってしまった、そこに親が迎えに行くまでに何時間もかかってしまったこともありました。学校とスクールバスの運転手の連携も悪かったようなんですが、いつも走らない路線を走ってしまったり、連絡が取れないことも考えられるので万が一の対応も考えて欲しいなと思います。

辻自治区長 : 吹雪の状況の把握や連絡体制も含めて担当のほうと善処したいと思います。

寺町 委員 : ワッカのことですが、ワッカの案内看板がかなり古くなっていて見づらいので見やすくしていただきたい。

山崎 課長 : ワッカ、森林公園を含めて考えていかななくてはならないと思っています。

横山 委員 : 町の中の道道北見・常呂線ですが、冬になると歩道を除雪をしている人がいますが、きれいに除雪をしていないので高齢者の人が転倒したりして非常に危険な状態です、災害時に逃げるにしても歩道が危険な状態なのできれいに除雪をしてもらえないでしょうかという話がありました。

山田支所長 : 状況確認のうえ北海道のほうに要請をしていきたいと思います。

敦賀 委員 : 冬場の除雪についてですが、栄浦・公園線に関しては通行止の看板を置いてあるだけなので、車が横から通っているので吹雪で危険な状況のときは全く通れないようにしないといけないと思います。

山田支所長 : 道道サロマ湖公園線は北海道が所管していますので、北海道と状況判断を明確にさせていただくようなことも含めて市との連絡体制を整理していかなくてはならないと思います。

辻自治区長 : どういう形になるかわかりませんが、預からせていただきます。

山内 会長 : その他ございますか。
よろしいですか。

山内 会長 : それでは次に、最優先・優先のランク付けに入りたいと思いますが、去年はAランクの最優先事業が7事業、Bランクの優先事業が39事業、Cランクの後年度検討事業が3事業ということで絞込みを行っており、本年度も昨年度同様に絞込みをしたいと考えております。

事業の絞込みに当たっては、時間の関係もありますので、これまで同様、行政側の考え方を聞いたうえで、それを参考に絞込みをしていきたいと思いますが、そういうことでよろしいですか。

委員 一同 : 質疑なし

山内 会長 : それでは、行政側の考え方について、事務局より説明願います。

山田支所長 : 資料に沿って説明

山内 会長 : ただいま、山田支所長から常呂自治区としての行政側の考え方について説明がありましたが、何か質問等ございますか。

江田 委員 : No.12についてですが、常呂自治区の考えている防災対策として必要だということであれば、人の命に関わるフェンスなのでBランクになっているのですがAランクに上げることはならないのでしょうか。

辻自治区長 : 標高の位置が4.28メートルより高い所であれば、基本的に津波はこない。安全をはかるために少なくとも2階までは必要だと思っておりますが、3階まで必要かどうかの判断は北見市全体として防災の観点から安全確保のガイドラインにするかという部分では迷っているところもあります。教育委員会と相談しなくてはならないと思っておりますので戸田所長の預かりというかたちで、その後経過を見ていただくしかないのかなと思っております。ただ、皆さんのご意見の中でAランクを望むとなればそれに関しては異存ありません。

三角 委員 : 小学生以外の地域住民も学校に避難するといっていました。

辻自治区長 : そういうかたちで、整理できるか検討しているところです。

三角 委員 : そうなると人数的に2階だけで間に合うかどうか、大勢になると屋上まで上がらなくてはならないと思えます。

辻自治区長 : そのへんの数字の洗い出しをしなくてはならないのかなと思っております。

田淵 委員 : No.7について、斎場の補修の方向性について聞きたい。

辻自治区長 : 今、議会で確認事項になっています。市民環境部が窓口となって方向性を見出すべく、庁内で検討が進められており今までよりも具体的なかたちで検討がおこなわれるようになるのかなと思っております。400万の予算を要求していますが、私のほうとしては先が見えない中で、今回炉の検査をしてもらいました。結果が良くない状況で、トラブルがあったらこまるので要求しました。考え方が整理されるまでこの炉の管理はしっかりやっていきたいと思っております。ただ、斎場を北見に一本化にまとめようという考え方もあるようですし、町の方にも賛否両論があるということを深く認識して対応をしていかなくてはならないと思っております。一定のことが見えてきたときは、まち協のみなさんにご意見をいただきたいと思っております。

山内 会長 : よろしいですか。

山内 会長 : それでは、ランク付けに入ります。

総合支所から提示のあったランクをベースに考えていただきたいと思っておりますが、このランクに対し、修正意見があれば、お願いしたいと思います。

先程、江田委員、三角委員よりNo.12の小学校のフェンスについて意見がありました。その他ございませんか。

安藤 委員 : フェンスを付ける理由付けが曖昧というか、先程児童が避難するためと言われていましたが「避難」を前面に出すということであれば、教育委員会ではなくて防災上の観点から避難路に準ずるぐらいのスピード感をもって予算付けをしなくてはならないと思っております。前回のなかで地域住民も避難すると説明がありましたが、江田委員が言うように緊急性があるのであれば、Aランクでもいいのかなと思っております。

横山 委員 : フェンスだけでいいのか、防災施設として扱うのか。それによって全然変わ

ってくると思います。

山内 会長 : 時間をかけて議論すべきだとは思いますが、予算等の絡みもあると思いますのでフェンスのないところには避難させられないという考えでどうでしょうか。

三角 委員 : 市としては、まだ決まってはいるわけではないですね。

辻自治区長 : 避難の関係を整理して住民のかたの逃げる場所として特定していきたいという考え方があります。今まだ固まっていますがその方向になっていくのかなと思います。

三角 委員 : フェンスを付けることになって地域住民が避難することに決まったとしたら、フェンスだけではなく、トイレとかの整備も必要かもしれませんよね。

辻自治区長 : 完璧な整備は難しいと思います。頑丈なフェンスを付けて安全な場所の環境整備に留まるのかなと思います。実際に避難するかたちで最終決定した場合は毛布とか避難に要する部分は我々が供給し、それらを使って避難生活の時間を過ごしていただくようになるのかなと思います。

田淵副会長 : 早急に対応しなくてはならないと思うので、住民の考え方としてAランクにもっていったほうが良いと思います。

山内 会長 : どうですか、この件につきまして現状のBランクからAランクへということによろしいですか。

委員 一同 : 異議なし

山内 会長 : 他にありませんか。

山内 会長 : それでは意見がないようですのでランクの確認をします。

Aランクの事業13のうち従来のものは決定です、またBランク事業のNo.12の事業がAランクにあがるということでAランクは14事業となります。

またBランク事業はNo.12の事業がAランクにいくこととなりますので、Bランク事業は44事業となります。Cランク事業は2事業となります。臨時費要求事業が3事業の合計63事業となります。

以上のとおりですが、よろしいですか。

委員 一同 : はい

山内 会長 : それでは、ただいまのランクをもって答申書を作成することとします。

山内 会長 : 以上で第6次実施計画に係る各種懸案事業の審議、常呂自治区内事業のあり方の審議について、終了いたします。

3. その他

山内 会長 : 以上で、本日の議題は全て終了しました。

次に、その他として委員の皆様から何かございますか。

寺町 委員 : 前回、旧国保病院の備品についてお話しましたが、他の町村では重複しているようなものは住民に競売をやっているところがあるので、もしそういうようなかたちで有効利用できるものがあれば是非お願いしたいと思います。

山内 委員 : 他にありませんか。

なければ事務局からお願いします。

開催 予定

川村 係長 : 次回の協議会についてでございますが、本日の審議結果を基に事務局で答申書案を作成いたしますので、その答申書案につきまして、ご審議をお願いしたいと存じます。

日程につきましては、11月中旬の開催を予定しておりますが、後日、改めて、調整したうえで、ご案内いたしますので、よろしくごお願いいたします。

閉 会

山内 会長 : それでは、以上をもちまして、平成25年度 第4回常呂まちづくり協議会を終了いたします。お疲れ様でした。